A young child with blonde hair, wearing a light blue long-sleeved shirt, is shown from the side, holding a white watering can and watering a small green plant in a white pot. The background is a soft-focus green field. The text is overlaid on this image.

**緑豊かな青い地球に感謝し、
アルミニウムを究めて、
持続可能な社会形成に貢献しよう。**

守りの環境対応に加え、攻めの環境対応に拡大

今後の拡大領域

(従来に増して積極性が求められる取り組み)

- 水資源の保全
- 生物多様性の保全
- ステークホルダーの活動への貢献と連携
- 気候変動対策の推進
- 環境改善に貢献する製品の販売、技術開発
- 循環型社会の構築

維持管理領域

(当社の持続のために不可欠な環境対応)

- 法令順守
- 環境重大事故の撲滅
- 化学物質の適正管理
- 環境に関する意識の向上

環境対応活動年表

環境対応の活動状況

UACJが取り組むべき環境に関する施策を確実に実践し
地球環境に対する責任を果たし続ける

UACJと考え方を一にする団体に加盟し、
グローバルスタンダードの取り組みを推進

- UATH(ラヨン製造所)
エコファクトリー賞受賞

2020年度

- ASI*へ加盟
- 水素バリューチェーン協議会 加入

- 気候変動対策推進委員会 発足
- サステナビリティ基本方針 策定
- マテリアリティ 策定、推進スタート
- UACJ SMART 発表

2021年度

第3次中計
公表

- 国連グローバル・コンパクト 加盟
- TCFD 賛同、コンソーシアム 参画
- TCFD シナリオ分析、結果公表(環境省支援事業)
- ASI 認証取得(福井製造所、UATHラヨン製造所)

- カーボンニュートラル挑戦宣言
- U-ALight 発表

2022年度

- ASI 認証取得拡大へ対応

イニシアチブでの活動状況

「環境基本方針」を見直し、気候変動への取り組みのさらなる推進を宣言

環境マネジメント

音声で聴く

▼ UACJグループ 環境基本方針 ▼ UACJグループ環境管理活動方針 ▼ 環境マネジメント体制
▼ 製品安全に関する法令遵守状況 ▼ 環境関連投資額 ▼ 環境教育 ▼ 環境に関する外部表彰

UACJグループ 環境基本方針

理念

UACJグループは、緑豊かな地球が、我々に活動の場を提供してくれていることに感謝すると共に、地球環境が全ての生命にとってかけがえのないものであることを認識し、この保全に取り組みます。また、現在および将来の事業活動のサプライチェーン全体について、環境への影響を評価し、その結果に基づいて具体的な目標値を定め、環境負荷の最小化と環境貢献の最大化を図るため、自主的かつ積極的に行動します。

行動指針

1. 環境関連の法律、規制、協定などを遵守し、更に自主基準を制定して排水・排ガス・化学物質の適正管理を行います。
2. 環境改善に貢献する製品の販売および技術開発を推進します。
3. **パリ協定の目標達成に貢献するため、温室効果ガス排出量削減と省エネルギーに努め、気候変動対策を推進します。(詳細は「気候変動対策に対する考え方」による)**
4. 進めます。
5. 事業活動に不可欠な水資源の保全に努めます。
6. 生態系からの恩恵を配慮し、生物多様性の保全に努めます。
7. 教育広報活動などにより、環境に関する意識向上を図ります。
8. ステークホルダーの環境保全活動への貢献と連携を図ります。

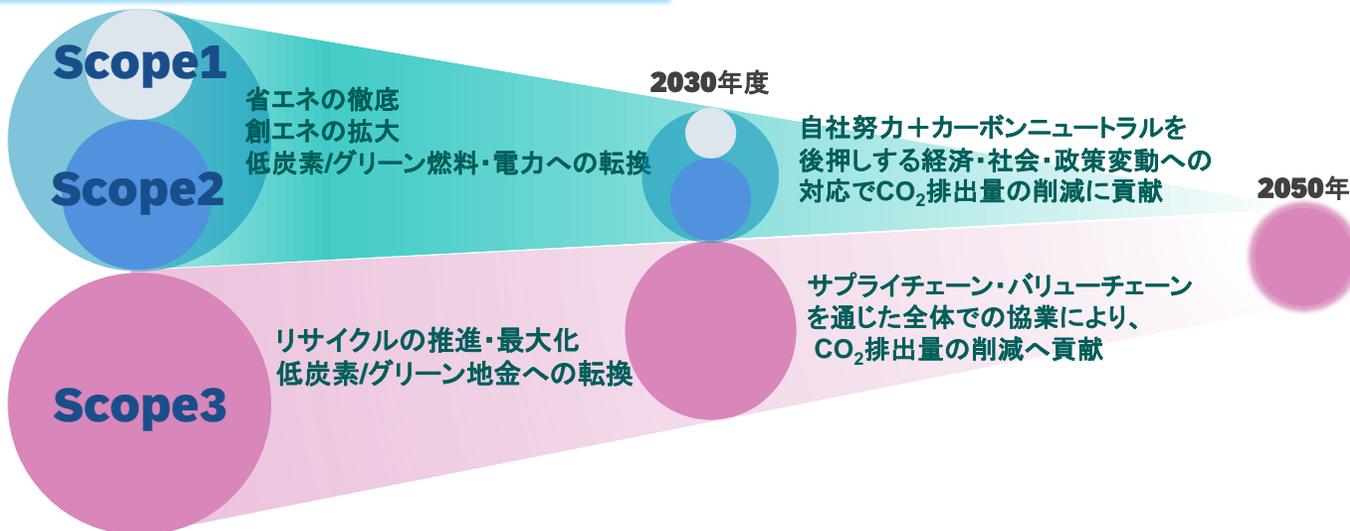
2022年2月 追加
「パリ協定の目標達成に貢献するため、
温室効果ガス排出量削減と
省エネルギーに努め、気候変動対策を推進」

2050年 カーボンニュートラルに向けて

活動指針

- Scope1・2においては、2050年カーボンニュートラルへ挑戦
- Scope1・2においては、2030年度 30%の削減を目指す
- Scope3においては、サプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつ、サプライチェーン全体でのCO₂排出最小化を目指す

Scope別のCO₂排出量と今後の削減イメージ



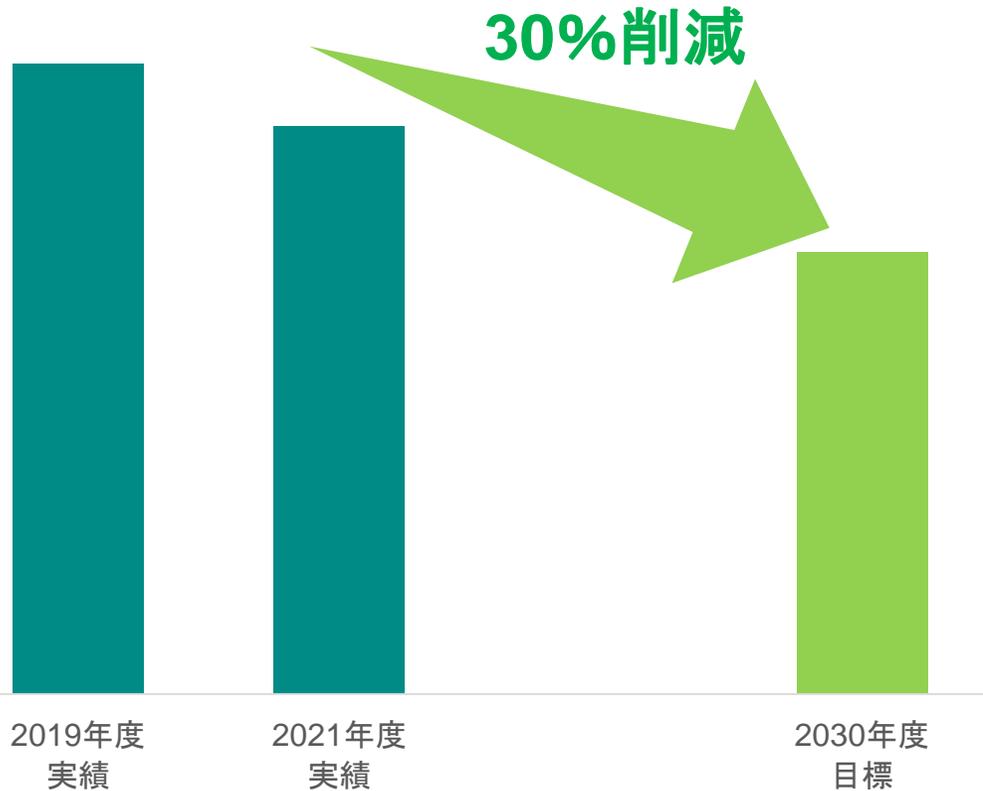
気候変動対策推進のロードマップ

項目	内容	2030年度	2050年度	
Scope1・2	省エネの更なる推進	エネルギー利用の効率化・ロス削減	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> CO₂ 30% 削減 </div>	
	低炭素/グリーン燃料への転換	重油・LPG⇒LNG・都市ガス		水素・アンモニア・メタネーションなど
	低炭素/グリーン電力への転換	再生エネ電力の導入開始・拡大		全使用電力の再エネへの転換
	炭素回収技術の導入	技術調査・検討		二酸化炭素回収・有効利用・貯留技術など
	カーボンオフセット	排出権取引等マーケット動向調査		植林・排出権取引など
		CN 実現		
Scope3	リサイクルの推進・最大化	すべてのスクラップ(社内スクラップ、お客様からのスクラップ、一般消費者からのスクラップ)利用最大化		
	リサイクル合金・技術の開発・実用化	開発・実用化(NEDO*助成事業)	実用化・普及拡大	
	低炭素/グリーン地金への転換	水力発電地金の利用拡大	グリーン(カーボンフリー)地金への転換	
	UACJ独自のCO ₂ 排出削減認定手法(マスバランス方式)の開発・供給・定番化	仕組みの構築	活用・定番化	
	アルミ化推進	UACJ-SMARTの開発・拡販・定着化、新規領域の開拓・拡販 アルミニウムが活躍して環境負荷を低減、削減のルール化		
外部機関への参画・協働		イニシアチブへの参画、アルミ業界団体との協働		
		CO₂ 排出 最小化		

Scope 1・2削減に向けた取り組み

CO₂排出削減目標

(Scope1・2、2019年度比・原単位)



新省エネ分科会*

- カーボンニュートラル挑戦宣言後、Scope1・2における目標達成のため
2022年7月「**新省エネ分科会**」を設置。
UACJグループ全体での更なる削減施策をスタート。

再生可能エネルギー(電力)の実績・計画

- 【実績】 **CO₂削減効果約1.4万トン/年**の
太陽光発電システムを設置済み(UATHラヨン製造所等)。
- 【計画】 **CO₂削減効果約10万トン/年**の
再生可能エネルギー(電力)導入を計画(2023年度より)。

CO₂排出量削減のための施策を検討、実行のための道筋を立てる

新省エネ分科会の経過

- 2022年11月までの議論で施策検討
- 2030年度Scope1, 2の削減目標を上回る削減施策を積み上げ
- 実効性を確認しながら、
優先順位をつけて実行に移していく

CO₂排出削減の施策例

【継続実施の施策】

- 蒸気/圧縮空気漏れの削減
- 炉の断熱増強・放熱防止など

【一部実施、対象拡大中の施策】

- 自敷地内での太陽行発電導入(UATHで実施)
- 鑄造/加熱/焼鈍炉の低炭素燃料への転換
- 工場照明のLED化など

【検討中の施策】

- 熱利用設備の再エネ発電利用による電化
- 廃熱利用設備の導入(鑄造、加熱炉など)
- 空調設備・ボイラーの高効率化など

UATH* (ラヨン製造所) 太陽光発電システム 9月より稼働開始



- 関西エナジーソリューションズ(タイランド)社とラヨン製造所の屋根に**太陽光発電パネルを設置**
(出力1.8万kW、約4万枚⇒日本の一般家庭約7,900戸分に相当)
- UATHは、発電された電気を20年間全量消費。
- **CO₂削減効果約1.4万トン/年。**

リサイクルアルミ材100%使用缶 発売(9月)



ザ・プレミアム・モルツ CO₂削減缶

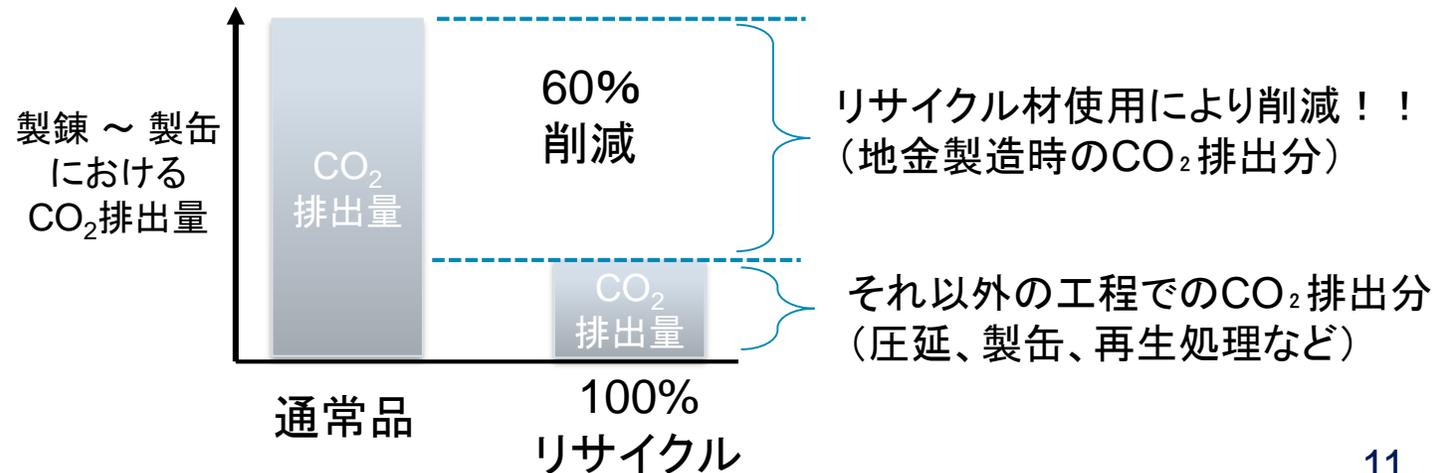


ザ・プレミアム・モルツ<香る>エール CO₂削減缶



- ✓ 世界初の100%リサイクル缶を、サントリー株式会社・東洋製罐グループホールディングス株式会社と共同で実現
- ✓ 新地金を使用せず、缶胴、フタ、タブ材のすべてをUBC(使用済飲料缶)やアルミ缶材の製造工程で生じた端材を使用
- ✓ 環境負荷低減を見据え、選別や分離、アルミ板製造工程などに特別な管理を行うことにより、100%リサイクルアルミ缶用板材を製造

【製錬から製缶までのCO₂排出削減のイメージ】



ASEAN域内でのアルミ缶クローズドループ・リサイクル促進

Can to Can Journey

政府、業界関係者をUATHに招き、アルミ缶のリサイクル性、Can to Can のクローズドループ(アルミ缶プロセスにてアルミニウムを再利用する循環)を理解していただく活動

参画企業・団体



クローズドループ・リサイクル促進に関する覚書の締結

- 2021年12月 タイ
- 2022年 2月 ベトナム

アルミ缶の使用が進むASEAN域内において、現地の政府・企業とリサイクルスキームの構築へ今後も注力



タイにおける覚書調印式
(右から2番目: UACJ執行役員 板事業本部副本部長 橋本圭造)

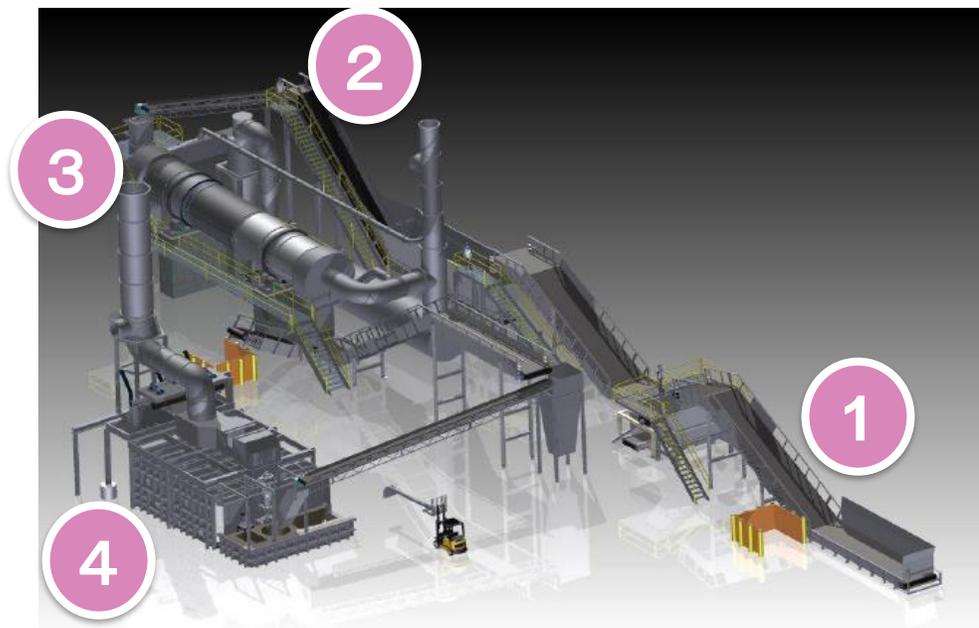


ベトナムにおける覚書調印式
(右から2番目: UATH 取締役社長 稲垣公樹)

CO₂排出最小化に向けたアルミ缶リサイクルの拡大

サーキュラーエコノミーの心臓を目指して、アルミ缶リサイクル設備導入を促進

➤ TAA*(ローガン工場):稼働中



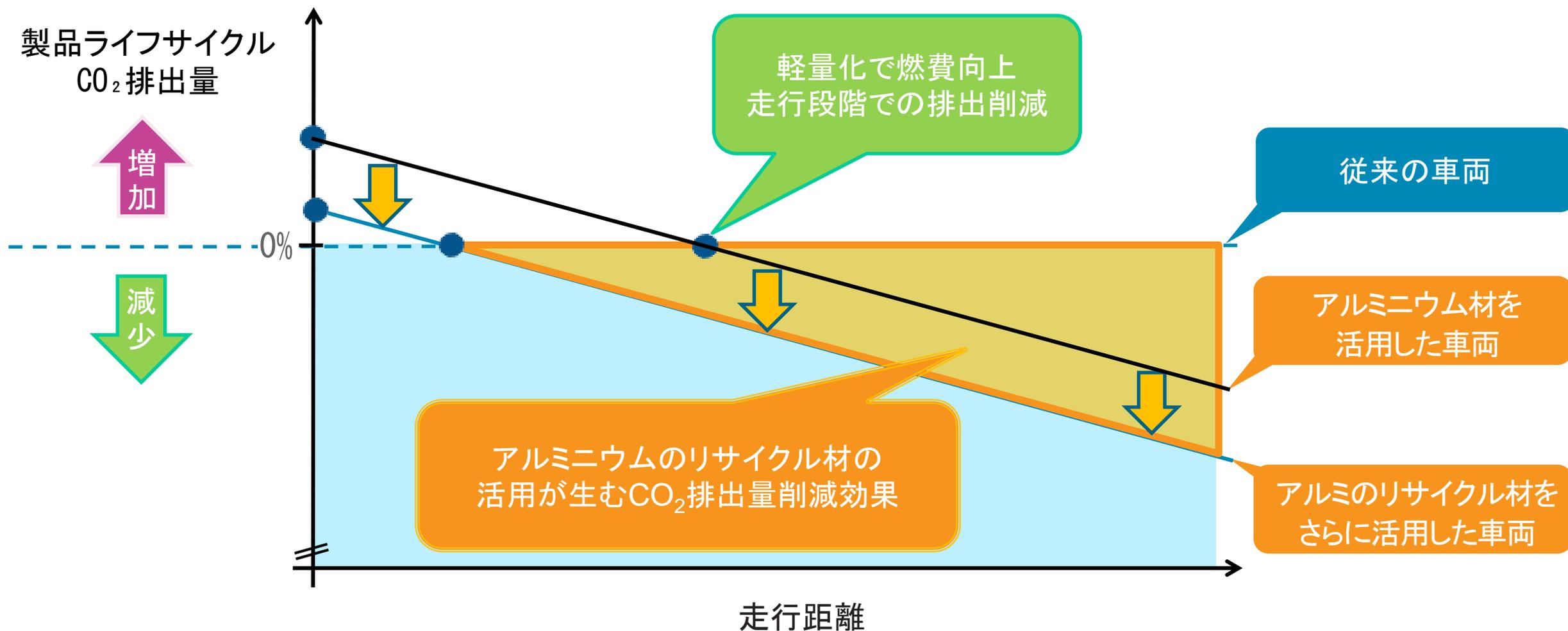
TAA (Logan) で稼働中の設備イメージ図・写真



- UATH(ラヨン製造所):2024年度稼働予定
- UACJ(福井製造所):山一金属(株)と協業推進中

自動車のアルミニウム化によって期待されるCO₂削減貢献

軽量化による燃費向上で、ライフサイクル全体でのCO₂削減に貢献



自動車でのリサイクル材の開発事例

低CO₂アルミニウム材が軽金属学会「第57回小山田記念賞」受賞

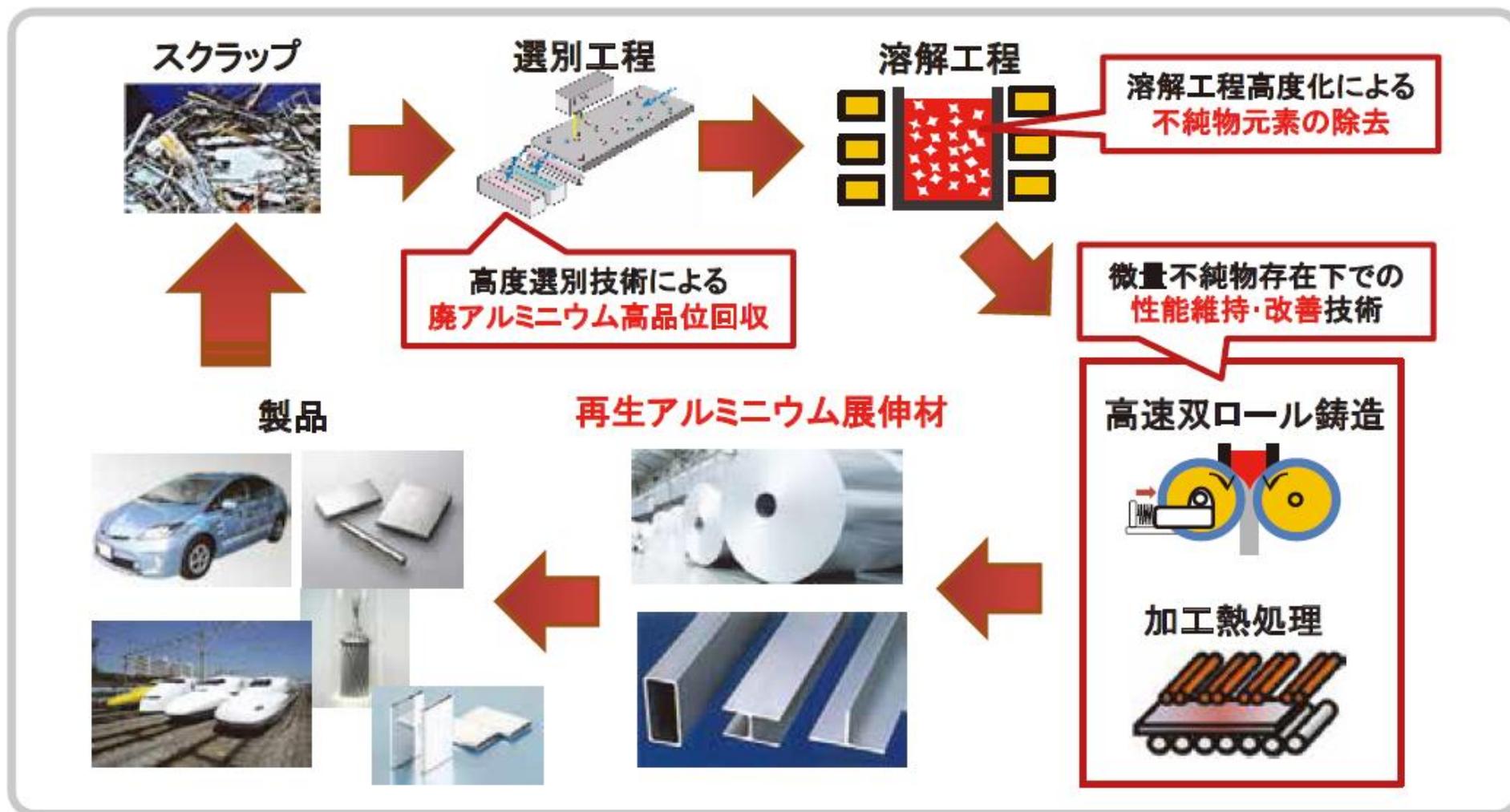
- 自動車メーカー様と共同開発したリサイクルアルミ材が、(一社)軽金属学会【第57回小山田記念賞】を受賞
- アルミニウム合金端材を約50%使用することで新地金量を削減し、従来アルミニウム材比較で素材製造時のCO₂排出量を約50%削減することを実現
- 自動車のライフサイクルにおけるCO₂排出量削減に大きな効果があり、今後のカーボンニュートラルに貢献するものと期待され、本技術が受賞



リサイクルアルミ材は、フードインナへ採用

リサイクル新技術の開発推進

NEDO*助成事業で革新的リサイクル新技術を開発し、リサイクル率の大幅な向上を目指す



*NEDO 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

出典 NEDO 先導研究プログラム(2019~2020) p43: アルミニウム素材の高度資源循環システム構築 より

TCFDシナリオ分析の実施

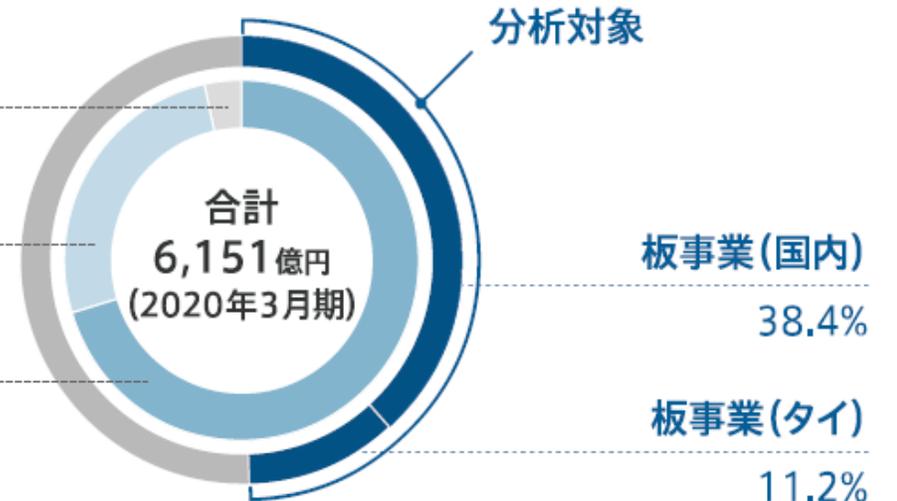
- ◆ 環境省の支援事業を受けて、**シナリオ分析を実施**(2021年10月～2022年1月)。
- ◆ 分析対象 : アルミ圧延品事業の内、板事業の国内3製造所(名古屋・福井・深谷)とUATH
- ◆ 分析内容 : 原料調達から廃棄、リサイクルに至るサプライチェーン上のリスクと機会
- ◆ IEAやIPCC等の将来予測値を参考とし、1.5°Cおよび4°C(2.6～4°C)の二つのシナリオを使用して分析。

シナリオ分析対象

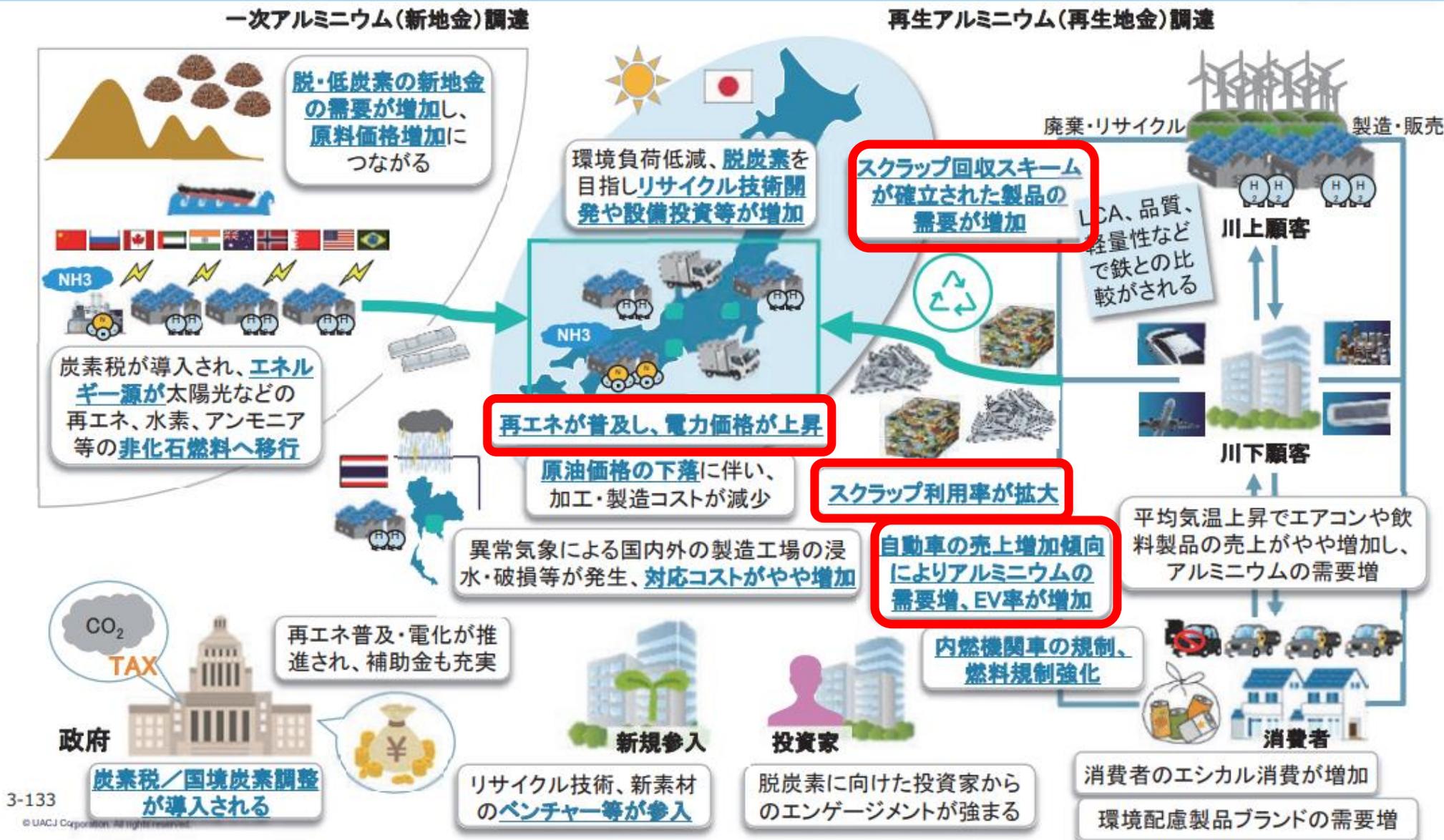
伸銅品
3.2%

加工品・関連事業
26.4%

アルミ圧延品事業
70.4%



TCFDシナリオ分析 1.5°Cシナリオの将来社会イメージ*



3-133

© UACJ Corporation. All rights reserved.

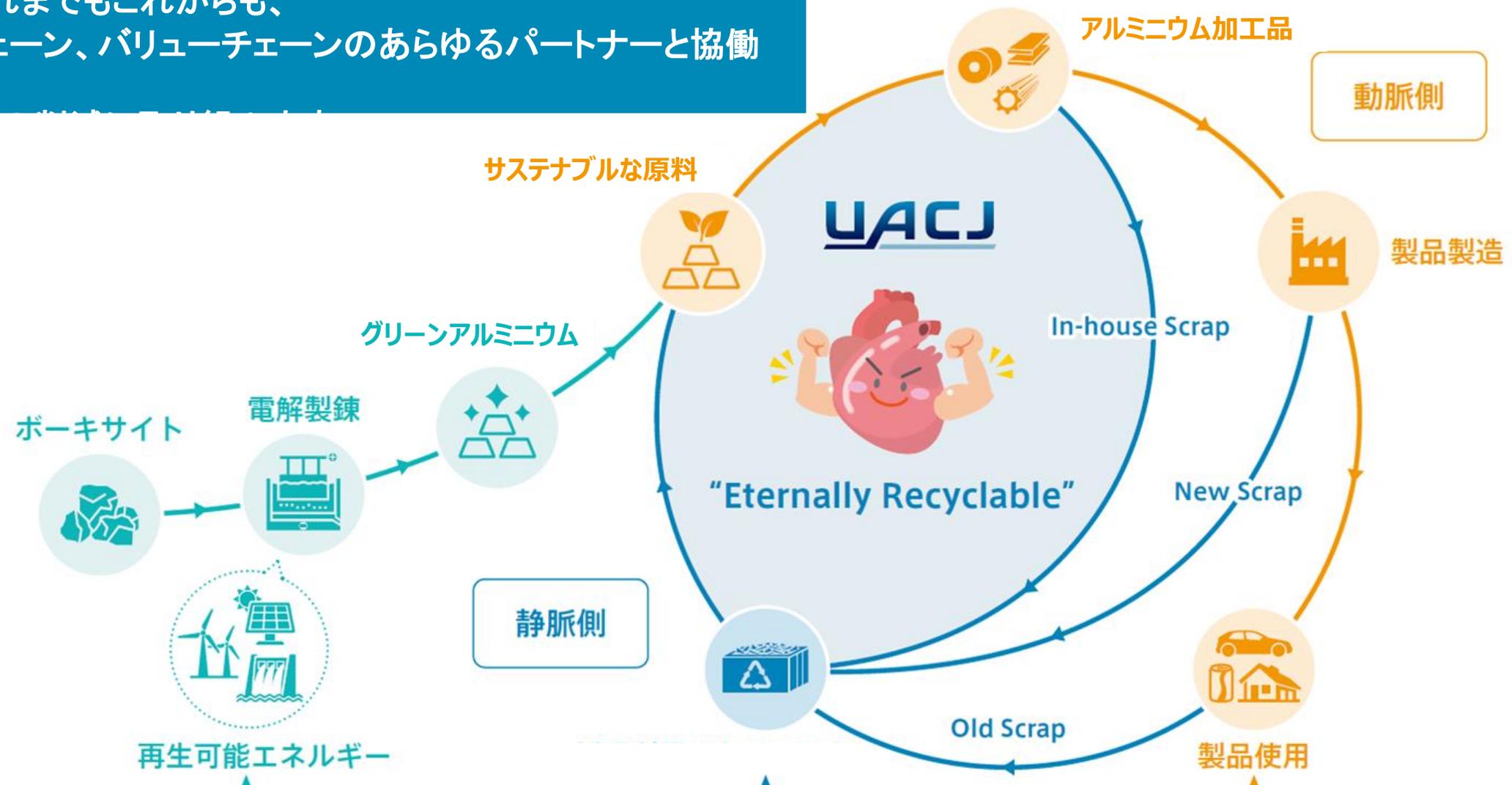
*出典：環境省「TCFDを活用した経営戦略立案のススメ」(2021年度版) http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei_mat01_20220418.pdf
4°Cシナリオの将来社会イメージ図等も掲載。

TCFDシナリオ分析に沿った施策の実施

項目	リスク対応	機会の取り込み
炭素価格、各国の炭素排出目標／政策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長期的なCO₂排出量/エネルギー削減目標設定 ⇒2050年CNへの挑戦宣言、2030年度CO₂排出削減目標を再設定(上方修正) ✓ インターナルカーボンプライシングの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長期的なCO₂排出量削減目標の実施 ✓ 森林等のCO₂吸収とクレジット制度の活用 ✓ 削減貢献量の評価方法構築 ✓ 脱炭素に向けた、官民連携・国際協力による省エネ技術の移転
エネルギーミックスの変化 省エネルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 燃料転換・電力会社切替等省エネ改善 ✓ 再エネ導入の促進 ⇒CO₂削減量10万ト/年規模で、2023年度からの再エネ導入を推進中 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光等の自家発電の利用促進と売電 ⇒UATHIに太陽光発電システムを設置(2022年9月より稼働) ✓ CCS・CCUS等の脱炭素技術の活用
各国のリサイクル規制／政策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品におけるリサイクル率向上の推進 ⇒世界初の100%リサイクル缶を製造 ✓ スクラップ回収スキーム上(川上・川下)との確立 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小売業者・自治体とのスクラップ回収スキームの連携と確立 ⇒Can to Can JourneyのASEAN域内における展開
重要商品/製品価格・需要の増減	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (原材料価格上昇に見合った製品価格の設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (リサイクル回収効率化等の対応により製品価格上昇を抑制し、製品競争力強化)
顧客の行動変化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱炭素アルミニウム製品・サービス開発(認証化) ⇒UACJ独自のCO₂排出削減の認定手法(マスマバランス方式)運用検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品のアルミニウム活用推進 ✓ 環境配慮の認証取得推進、独自ブランド確立 ⇒ASI認証取得、「UACJ SMART」拡販 ✓ 競合素材会社との協業
平均気温の上昇		
異常気象の激甚化(サイクロン、洪水)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 防災設備の導入 ✓ データ活用によるリスクモデル高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製品のアルミニウム活用推進:防災技術・製品の拡充 ⇒防災用止水板・アルミボトル缶備蓄水の販売開始 ✓ 防災に向けた官民連携コンソーシアム等組成

循環型社会の構築を目指して

UACJはこれまでもこれからも、サプライチェーン、バリューチェーンのあらゆるパートナーと協働し、



グリーンアルミニウム地金の調達努力

アルミニウムを回収・リサイクル

アルミニウムが活躍して環境負荷を低減

Appendix① 従来より実施している環境活動

2022年度UACJグループ環境管理活動項目

項目	目標	重点実施項目
環境重大事故の撲滅	環境重大事故1件以下 (2021年度比半減以下)	<ul style="list-style-type: none"> 環境トラブルの再発防止策の横展開推進 環境管理設備の不具合の撲滅
省エネルギー対策の推進	エネルギー原単位をグループ全体で2021年度比1%削減(省エネ法努力目標)	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー多量使用設備の点検、保守の推進 改正省エネ法(2023年度施行予定)への対応準備推進
産業廃棄物の削減	産業廃棄物原単位を2021年度比削減	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の管理の徹底と高度化 廃プラスチックの削減計画の策定
化学物質の適正管理	管理化学物質を2021年度比削減	<ul style="list-style-type: none"> PCB及びアスベストの処理計画の推進 法令改正への適切な対応
水管理の推進	水使用に関する管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> 水管理に関する要求事項の検討 水使用に関する管理項目の見直し

環境マネジメント体制



Appendix② 外部団体への加盟、参画状況



2020年7月
ASI 加入



2022年3月
ASI 認証取得
(福井製造所/ラヨン製造所)



2021年3月
JH2A 参画
(水素バリューチェーン推進協議会)



2021年4月
国連グローバル・コンパクト
署名



2021年9月
TCFD 提言賛同、TCFDコンソーシアム 参画



2022年2月
TCFD シナリオ分析 公表
(環境省支援事業)

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界